

せい ろう まち
せ 聖籠町
議会だより

VOL.
102
平成25年4月19日発行



君たちが主役だ
(蓮野小学校入学式)

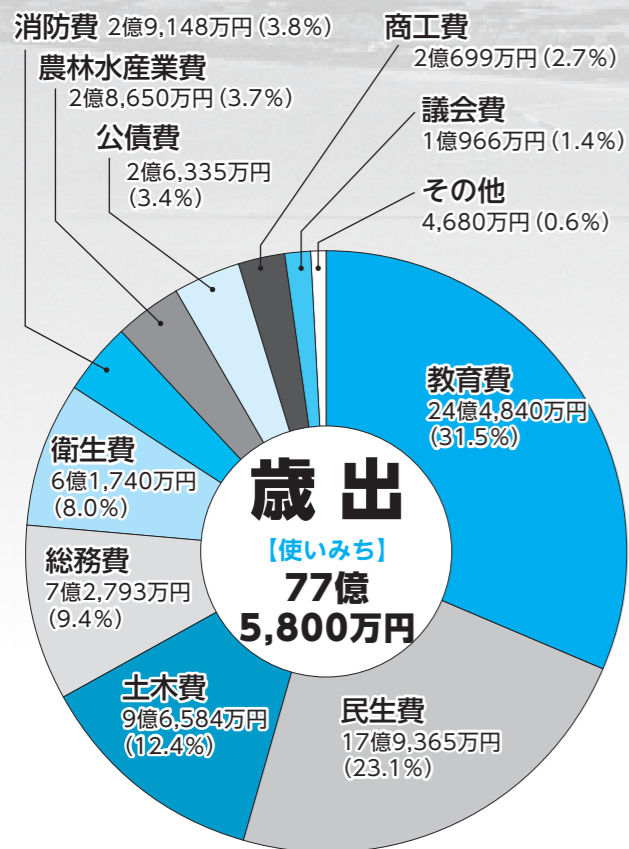
快適な生活環境づくりと未来への投資 2～6ページ
～新年度予算を可決～

10人が一般質問 12～22ページ
第15回 追跡レポート 23ページ

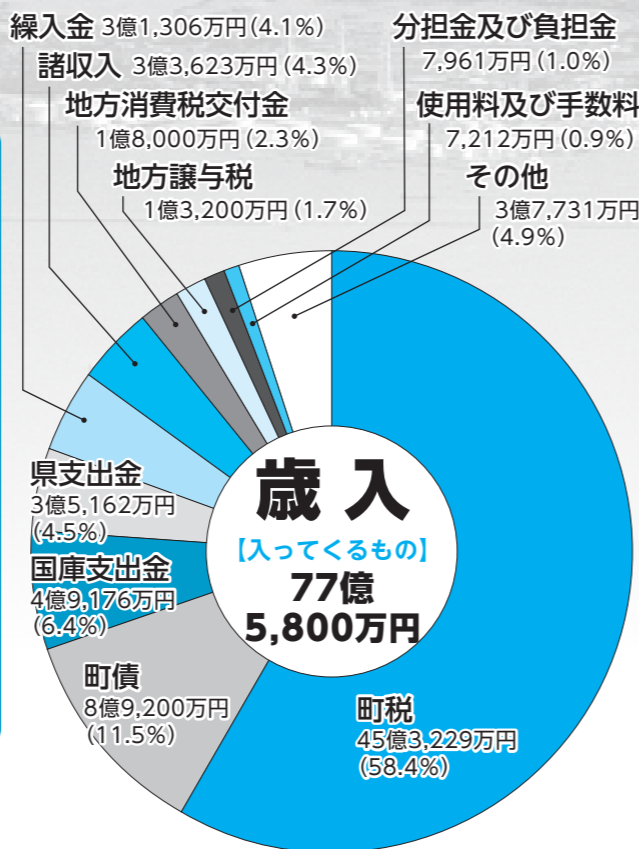
快適な生活環境づくりと

未来への投資

3月定例会



一般会計予算の内訳



一般会計予算 **77億5,800万円** (前年度対比**5.6%**増)



平成25年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ77億5800万円、前年度対比5.6%の増となっています。

歳入においては、全体の58.4%を占める町税は45億3229万円、前年度の44億6012万円に対して7216万円増となっています。

歳入においては、全体の58.4%を占める町税は45億3229万円、前年度の44億6012万円に対して7216万円増となっています。

歳入においては、全体の58.4%を占める町税は45億3229万円、前年度の44億6012万円に対して7216万円増となっています。

一般会計予算

【歳出】
民生費→高齢者・児童福祉など／教育費→学校、公民館、図書館など／土木費→道路・公園の維持・整備など／衛生費→保健事業、ごみ処理など／総務費→公害・交通安全対策、選挙など／公債費→町が借りたお金の返済／消防費→消防団活動、防災無線など

平成25年度 7会計総額

117億7,333万円
(対前年度比5.0%増)

- 一般会計 77億5,800万円 (5.6%増)
- 国民健康保険特別会計
事業勘定 13億1,374万円 (1.0%増)
施設勘定 1億5,101万円 (14.7%増)
- 介護保険特別会計 10億7,956万円 (8.2%増)
- 後期高齢者医療特別会計 7,567万円 (1.9%増)
- 県営開拓パイロット事業聖籠町特別会計 814万円 (14.7%減)
- 下水道事業会計
収益的支出 5億7,633万円 (1.6%減)
資本的支出 3億8,236万円 (16.6%増)
- 水道事業会計
収益的支出 2億4,003万円 (2.6%減)
資本的支出 1億8,847万円 (1.6%減)

【歳入】
町税→町に直接入るお金(固定資産税、町民税、軽自動車税など)／国庫支出金→国が出す補助金／県支出金→県が出す補助金
町債→税源不足による借入金／繰入金→特別会計や各種基金から繰り入れるお金

予算審査特別委員会

平成25年度一般会計予算、特別会計予算、事業会計予算の7会計を、平成25年3月13日から18日にわたり、各会計及び各款ごとに慎重に審査を行いました。

自主独立の道を歩む町として、行財政改革の実行と同時に広く町民の声を吸い上げ、町と町民の協働によるまちづくりを進める。そのための効果的な施策の構築を願うものです。

3月定例会は、3月5日から19日までの15日間の会期で開かれました。新年度にあたって町長の施政方針表明があり、町長から提案された平成25年度一般会計予算、4特別会計予算、2事業会計予算のほか、24年度補正予算、条例の改廃などの29議案を慎重に審議し、いずれも可決しました。

一般質問では10人の議員が、教育、環境、地域活性化、図書館建設、国際交流事業など町政全般について、2日間にわたり厳しく問いただしました。



平成25年度 新規・重点事業とQ&A

安心して暮らせる福祉 (子育て、医療、福祉など)	快適な生活環境 (公園、環境美化、都市計画など)	町を活性化する産業 (商業、農業、漁業、観光など)
主な事業概要 ○子ども医療扶助費 4,503万円 ○特定健康診査・各種がん検診 業務委託 3,075万円 ○高齢者応援手当扶助費 1,996万円	主な事業概要 ○町都市公園の整備および業務 委託 7,653万円 ○環境美化対策事業 766万円 ○消防用小型ポンプ・備品購入 1,261万円	主な事業概要 ○畑地灌漑施設と用水路整備事業 1,796万円 ○海のにぎわい館指定管理と 海まつり 1,725万円 ○聖籠町住まいる券発行事業 498万円
質 疑	質 疑	質 疑
<p>問 福祉政策の充実が大切なのは言うまでもないが、今後は町民がなるべく医療機関にかからないように予防医療の啓発が重要だ。どう考える。</p> <p>答 まさにその通りだ。国民健康保険税、介護保険料の町負担の抑制のためにも今後は予防に力を入れ、町民がいきいきと生涯を送れるような町づくりをしていきたい。</p>	<p>問 環境美化対策としてNPOを立ち上げることだが、NPOは行政依存になりがちだ。自主・自立の町をうたう町としてどう考える。</p> <p>答 当初は行政主導であるが、将来は独立して事業を担える団体になりたい。この間に住民意識の啓発や集落・地域のリーダーを育てていきたい。</p>	<p>問 聖籠町住まいる券発行事業は、一世帯あたりの上限を70万円ではなく50万円にし、より多くの町民に行き渡るようにしたらどうか。</p> <p>答 住宅のリフォームや造園、下水道工事にも使えるが、それらは高額の工事となるので上限70万円が妥当と考えている。</p>

自立できる子どもたち (こども園、小・中学校など)	いきいきと学べる環境 (社会教育・スポーツ振興)
主な事業概要 ○小・中学校教育の関連事業総額 2億5,193万円 ○こども園教育の関連事業総額 3億2,554万円 ○就学援助と学力の向上などの教育振興 1,015万円	主な事業概要 ○新図書館建設事業 11億2,700万円 ○体育施設の改修・管理 4,809万円 ○文化会館での自主事業 2,570万円 ○スポネットせいろう、アルビレックス新潟による スポーツ指導、教室 977万円
質 疑	質 疑
<p>問 国際交流事業は予算に見合う効果が町民に見えない。今後は中国だけでなく、欧州やアメリカ、アジア各国との交流もすべきでは。</p> <p>答 英語圏との交流は必要と考えている。今後は町民の海外研修などについて、有識者も交えた中で前向きに検討したい。</p> <p>問 小学校の1学級の人数は市町村の裁量で決定できる。ぜひ本町では35人学級を実現してほしい。</p> <p>答 25年度は町内の小学校で35人以上の学級が3クラスある。しかし予算の関係から町独自の実現は難しい。今後の国の動きを注視したい。</p>	<p>問 新図書館建設費用は11億円を超える大きな金額となった。もう少し費用を圧縮できないか。</p> <p>答 新図書館は単なる図書館という位置づけではなく、町の情報拠点施設としての役割を担うものだ。町民に豊富な資料と情報を提供するためには適当な費用である。</p> <p>問 スポーツ振興事業費の中で、アルビレックス新潟関連の予算が増えている。スポーツ関連で、より効果的な予算の使いかたはないか。</p> <p>答 アルビレックス新潟のホームタウンであることは、本町の知名度アップに大きく寄与している。また、スポーツ教室の開催などで子どもたちの体育教育にも十分貢献していると認識している。</p>

町の声

～予算への 思いを聞く～

聖籠町は一般会計予算と6つの特別会計予算を合わせると、毎年110億円余りの予算を使っています。

そこで、町民の皆さまに本町の予算の使い方について、考えや要望などを聞いてみました。

年齢、職業、地域などによって、いろいろな意見があると思います。今後議会として、皆さまの声を反映できるよう、町へ働きかけていきたいと思ひます。

聖籠町にも 高齢者の学習講座を



たかはし げんきち
高橋 源吉
(二本松)

私は聖籠に生まれ聖籠に育って八十数年、後期高齢者で身体障がい者です。町より手厚い支援をいただき、元気に暮らせる聖籠が大好きです。

さて、私は平成22年、23年に県の高齢者福祉大学に通いました。大学には下越全域よりいろいろな人が集まっており、出

無駄を排除し 予算バランス配分を



ひらの ゆきお
平野 幸雄
(次第浜)

新聞報道等によると、国・地方の債務残高は、約977兆円（国民一人約766万円）・当町の債務残高は、約100億円とか（町民一人70万円の借金）と極めて厳しい現実があります。

この負担は子孫まで、残すことを意味します。私たちが考えなければならぬことは、自己の欲望ばかりを国・町の予算に求めることだけでなく、これ以上債務を増やさない精神を持って、町に対し予算の削減をすることこそが肝要です。無駄を排除し、予算のバランス配分を要望するものです。もう箱物行政は、やめようではありませんか。

子どもたちの 未来のために



せきかわ けん
関川 健
(網代浜)

聖籠町は私たち子育て世代には、とても環境が良いです。住んでいる私たちは当たり前のよう感じますが、素晴らしい政策がいくつもあることを私たちは認識しているでしょうか。

私たちが責任世代は未来を見据え、子どもたちのために住み良い町にして

第1回臨時議会

発議第1号・2号・3号

平成25年第1回臨時議会が2月18日、1日間の日程で開催されました。

主な質疑

＊発議第1号 議会委員会条例の一部を改正する条例について

＊発議第2号 議会政務調査費の交付に関する条例の全部を改正する条例について

＊発議第3号 議会会議規則の一部を改正する規則について

発議3号の改正内容は、本議会でも公聴会を開き、参考人を招致できることになったため、当議会でもこの制度を導入する会

名称変更 どう伝える

中村恵美子議員 政務調査費が政務活動費に変更となり、全員協議会の中で何回も議論してきた。

全国的な法の改正であり、新聞報道などで広く周知されている。本町でも議会広報などに掲載して説明していく。

議案提出者
高松守雄議員

公聴会の 招致手順は

小川益一郎議員 本会議において公聴会を開催することができ、または参考人を招致することができ、公聴会を開いたり参考人を招致するための手順はどうなっている。

議案提出者
高松守雄議員

2名以上の議員が連名で議長に申し出し、本会議の採決後に議長が議会運営委員会にはかって開催を決定する。

●一口メモ
議案とは
議員が議案を提出して審議を求めること。

人権擁護委員に

平野 政要 さん



ひらの まさよし
平野 政要 さん

人権擁護委員である平野政要さん（次第浜 二期目）が、平成25年6月30日で任期満了となることから、再度委員に推薦され、全会一致で適任と

認めました。平野さんは識見、人格も高く、地域社会での信頼も厚い人です。引き続きの活躍を期待します。

議会推薦の

聖籠町農業委員決まる



たかはし ふみこ
高橋 文子 さん

農業委員会等に関する法律の規定に基づいて、高橋文子さん（二本松 三期目）、藤井敦子さん（本三賀 一期目）の2人を聖籠町農業委員会委員に推薦することを全会一致で可決しました。

なえられた優れた人です。豊富な農業経験を活かして、今後の活躍を期待します。



ふじい あつこ
藤井 敦子 さん

高橋さん、藤井さんとも識見、人格ともにそ

定例会

【主な議案】

- 地域密着型サービス条例の制定
- 地域密着型介護予防サービス条例の制定
- 町道の構造基準の制定
- 町職員の旅費条例改正
- 循環バス条例の廃止

地域密着型サービス条例の制定

主な質疑

今までと変わる点は

宮沢光子議員

この条例では、国から義務付けられた項目は国の基準と同じに定め、町が独自に決められる項目は、県や他町村の考えを参考に国より厳しく定めた。

町が事業者を指定する権限を持つ

町民課長

条例制定により取り扱いの事務量に変わりはないが、事業者の

指定を町で行えるようになる。新規の申請は町で受け付ける。

また、記録の保存期間を5年とした理由は、料金過払い等の請求時効が5年であるため、それに対応できるようにした。

討論 なし

採決 起立全員により可決

町職員の旅費に関する条例の改正

主な質疑

車賃の支給は平等であるべき

五十嵐利栄議員

車賃は公用車の配備された課は支給されないそうだが、やむを得ない場合は私有車を使うこともある。公用車が配備されていない

運行記録は誰が管理

小川益一郎議員

公用車利用の運行管理記録はだれが管理しているか。

総務課で管理

総務課長

ふるさと整備課以外の公用車は総務課が管理している。運行記録も総務課で管理している。私有車の公務利用の認定は総務課で行っている。

討論 なし

採決 起立全員により可決

町循環バス条例の廃止

主な質疑

26年度の委託額はどのくらいか

中村恵美子議員

平成26年の経費はどのくらいと見積もっているか。また、委託先はどの辺りを想定し、民間委託に合わせて新発田への乗り入れはあるか。

4400万円と想定

生活環境課長

26年度の委託見込み額は4400万円、委託業者は近隣を含む業者と想定する。新発田への乗り入れは受託者との話し合いによる。

福祉バスとしての位置づけは

五十嵐利栄議員

民間委託により、利用者の少ない路線は廃止されるのではないかと危ぶる。福祉バスとしての位置付けはどうなるのか。また、東港区域内には総合病院も進出する。東港地域へのアクセス改善は図れない



路線の廃止はない

生活環境課長

バス路線の見直しは利用の少ない時間帯の路線を一部廃止するものであり、系統を廃止するものでない。東港地域へのアクセスは利用の状況を見ながら検討したい。今の運転手の雇用は、できるだけ再雇用するよう努める。

討論 なし

採決 起立多数により可決

施政方針表明



渡邊町長

第4次行政改革の推進

安心安全施策の推進

環境美化の推進

新図書館建設費計上

▼平成25年度は、国の動向を踏まえながら自主・自立した個性ある活気に満ちた町づくりを進めていきます。また、町民に約束した「選挙公約」マニフェストの実現を期して予算編成に取り組みしました。

▼持続可能な行政経営体制への転換を図るため、2年で集中的に「適性な人員配置へ向けた事業見直し」「職員の意識改革」を推進します。

▼県の地震津波シミュレーションを基に町の地域防災計画や災害ハザードマップを作成し公表します。また、地域の連携が重要なことから、自主防災組織の強化と充実を継続します。

▼地域の環境美化推進については平成25年度から取り組みます。地域の環

境美化活動の先導役となるような組織（NPO法人）の設立準備を行うとともに、地域単位でのボランティア団体・組織の育成を行い、環境意識の高揚を図りながら、町民と行政との協働の取り組みを進めていきます。

▼「国土強靱化」政策を踏まえ、新潟東港を核とした産業基盤の形成に向け、エネルギー拠点基地として東港工業用地を活用。「まちづくり」に大きく波及するコンテナターミナルの民営化と貨物鉄道のコテナターミナルへの乗り入れなどを県・新潟市・経済界と連携し、国策としての取り組みを働きかけていきます。

▼新図書館建設については、当初予算に工事請負費や備品購入費、設計監理業務委託料を計上し、「本のまち」として平成26年6月の開館を目指します。

除雪費の専決処分を承認

一般会計補正予算

除雪費	1,000万円 (専決処分)
国保事業繰出金	4,715万円
丸瀧地区基盤整備事業負担金	2,444万円
町下水道事業会計補助金	5,000万円

平成24年度一般会計補正予算は、初めに除雪費1,000万円の専決処分を承認しました。その後既定予算に歳入歳出それぞれ2752万円を減額し、総額77億1284万円と定める補正予算を起立全員により可決しました。主なものは、除雪費1,000万円(昨年総額7500万円に対し本年総額は4500万円)、国保事業への繰出金4715万円、丸瀧地区基盤整備事業負担金2444万円、町下水道事業会計補助金5000万円などです。

主な質疑

誰が判断した

中村恵美子議員 国保事業繰出金4715万円は誰が判断して決めたか。

費を多く必要とする層の人が多く、自前経営は難しい。今後一般会計からの繰出金はあるか。

基盤整備どこまで進んでいるか

小川益一郎議員 丸瀧地区基盤整備に2444万円計上されているが、事業全体の進捗状況はどうなっているか。

課長が要請し町長が決めた

町民課長 国保会計の資金が足りなくなり、一般会計からの繰り出しの必要性を私が町長に要請し、判断してもらった。

今後も繰出金はあり得る

町長 国保会計の基本は独立採算である。平成23年度に保険料改定したが、今回初めて繰り出しを行った。公的負担の増額も求めていくが、今後も繰出金はあり得る。

25年度で85%進む

産業観光課長 平成24年度から28年度まで総額6億800万円の事業だが、24年度2億6000万円、25年度1億9000万円計上されており、25年度で85%まで進む予定である。

国保繰出金は今後もあり得るか

小川益一郎議員 国保加入者は所得が低く、医療

育児休暇者の代りは誰が担任する

五十嵐利栄議員 育児休暇者の給料減額出ているが、25年度のことでも園のクラス担任は誰が担当するか。臨時職員をクラス担任にすることは、勤務時間が短いことから問題がある。

行政職の勤務時間変わらない

総務課長 こども園の臨時職員の勤務時間は25年度試験的に、正職員と同じ勤務時間とするが、年間ではこれまでと同じ労働時間の考え方(1日7:0時間)で実施する。

初年度で話し合い減額した

町長 指定管理者が経営努力した分を減額すれば、指摘の通りだ。しかしながら、今回は町主導で立ち上げたNPO法人で、精算見込みの差が大きかった分を中心に両者話し合いで減額した。

臨時職員が担任する

学校教育課長 臨時職員の勤務時間が25年度から正職員と同じ勤務時間と

減額は契約違反でないか

渡辺利道議員 海のにぎ

読者の声



あんざい はじめ
安在 一さん
(稲の平)

有事の対策万全に

ある占いによると「今年、経済界では好転の兆しが見られ、政界では政党間や党内での分裂が起こる。社会現象では人災、地震、天災などの混乱を引き起こす凶年で、地震、火山噴火、暴風雨、土砂崩れ、天候異変、火災等の発生確率が高く、多くの人命が奪われる傾向のある年。人災では交通事故で多数の人命が失われる事故が発生しやすい、冷静沈着な行動と慎重さが望まれる大切な年になる。」とありました。さて、どうなったのでしょうか。

経済情勢は、昨年末の政権交代以降「アベノミクス」により円安・株価上昇で景気は上向きのように見えます。政界は昨年の総選挙から、この夏の参議院選挙に向けてさまざまな動きが報道されています。天災では、聖籠周辺は例年より雪も少なく平穏に見えますが、北海道や東北では異常低温と大雪で、東京でも大雪により多くの影響がでていました。また、アメリカ北東部では歴史的な大寒波による猛吹雪と大停電により、多くの被害がでました。そしてロシアでは、地球に落下してきた隕石の空中爆発により、千人以上の負傷者が出たという事故が起きた。人災となる、アルジェリアやグアム島で多くの日本人がテロや無差別殺傷事件に巻き込まれ、尊い命が失われました。尖閣諸島では、中国とのにらみ合いが続いていますし、北朝鮮では、ミサイル発射や核実験が強行され、脅威が広がっています。

アでは、地球に落下してきた隕石の空中爆発により、千人以上の負傷者が出たという事故が起きた。人災となる、アルジェリアやグアム島で多くの日本人がテロや無差別殺傷事件に巻き込まれ、尊い命が失われました。尖閣諸島では、中国とのにらみ合いが続いていますし、北朝鮮では、ミサイル発射や核実験が強行され、脅威が広がっています。

まあ占いですから、これから起きることは分かりませんが、これだけ見ても何か当たっているようにも思えます。

あまり当てはけにくいのですが、大切なことは、何か事が起きたときに、冷静かつ適切な行動をとることだと思います。町議会にかかわる皆さんには、町民の代表として、有事の際のリーダーシップを遺憾なく発揮されるよう、あらためてお願いしたいと思います。

自治功労者に対し

全国町村議会議長会より表彰



小川 益一郎 議員

議会議員として多年にわたり、町の地方自治振興ならびに議会機能向上に貢献され功績のあった者として、全国町村議会議長会から小川益一郎議員が表彰されました。

ズバリ 直言

一般質問

町政を問う

次回の定例会は、
6月18日(火)開催予定です。

10議員が質問

五十嵐 利 栄 議員 (13 ページ)

- 1 PM2.5 対策どうする
- 2 施設農家へ助成を
- 3 給与削減必要ない

宮 沢 光 子 議員 (14 ページ)

- 1 幼児教育の方針を変えるのか
- 2 幼児教育に絵本を
- 3 発達障がいの早期発見を

桜 井 怜 議員 (15 ページ)

- 1 雇用延長はどうする
- 2 緑化保全の推進を

渡 辺 利 道 議員 (16 ページ)

- 1 進んでいるか行政改革
- 2 販売せよ生ごみ堆肥

高 松 守 雄 議員 (17 ページ)

- 1 東港開発の展望は
- 2 住まいる券発行に期待
- 3 通学路の車事故を防げ

田 中 智 之 議員 (18 ページ)

- 1 英語圏との国際交流推進を
- 2 体罰調査の徹底を

小 川 益 一 郎 議員 (19 ページ)

- 1 公共用地買収は公平に
- 2 督促状の誤発送なげ

中 村 恵 美 子 議員 (20 ページ)

- 1 激変緩和の施策は重要
- 2 中小企業振興条例の制定を

堀 常 正 議員 (21 ページ)

- 1 緑地公園的な森づくりを
- 2 現図書館をどう活用する
- 3 環境美化の取り組みどうする

青 木 順 議員 (22 ページ)

- 1 通学路の安全確保万全か
- 2 深刻な大気汚染対策は

PM2.5対策どうする

町長 国の指針を基本に対応

問 中国から飛来してくる、環境汚染物質、PM2.5による健康への被害が懸念される。

県内5カ所の測定地点中、2カ所で国の基準値を超える数値も確認されている。4月から5月には黄砂に乗って、さらに多くのPM2.5の飛来が予測される。町民の健康被害対策を伺う。

①町にも測定器設置は。②町民の被害防止の具体策は。③発生源の中国へ、公害防止の日本の技術を指導することで、諸課題も解決可能という声もある。国に伝える考えは。

④子どもたちの健康被害対策を、どう具体化する。また、子どもたちにマスク支給できないか。

町長 ①新発田市と新潟市の測定値で対応する。②国の指針に基づいて対応する。③国への要請は現時点では考えていない。今後推移をみて、全国町村会を通じて対策を図る。

教育長 ④今後、基準値の2倍を越えた場合、外出の抑制、屋外活動の制限、マスクの着用などを、幼・小・中学校に指導する。マスクの支給は考えていない。



▲PM2.5測定局（新発田市外ヶ輪公園内）

給与削減必要ない

町長 国の削減要請には応じない

●**一口メモ**
ラスパイレス指数とは
国家公務員の給与を
100とした場合の地
方公務員の給与水準を
示す指数。

また、国は国家公務員給与を2年間の時限立法で7.8%削減している。地方公務員にも削減を要請しているが、一方ではインフレ政策の推進で経済界に賃上げを要請しており、矛盾している。また地方公務員は、この10年間で約10%給与を削減しており、今回は要請に応ずるべきでないと考えられる。

町長 退職金条例の改正は、県市町村総合事務組合で検討しているが、年度で区切ったの対応を考えている。
給与の削減は、ラスパイレス指数100を超える部分の削減要請であるが、今回は対応しない意向である。

施設農家へ助成を

町長 支援策検討する

問 原油の値上りと強い寒波で施設農家はダブルパンチを受けている。助成策を検討願いたい。

町長 灯油価格の高騰は今後も続くと思われ、町独自の支援策も検討したい。



高松 守雄議員

問 東港地内へ進出する新潟リハビリテーション病院（仮称）の概要説明があり、平成25年着工、27年開院と発表された。経営する葵会グループは病院以外に、介護施設・学校・ホテル等70を超える事業を全国展開。町への効果は医療の充実、雇用の促進、資源の活用、災害時の被災者の受け入れなどが期待される。

① 病院誘致の経緯と、他事業展開の見込みは。

② 東港道路整備で、大夫興野インターチェンジの

新発田方面への乗り入れを早く完成させ、東港の背後地として有効活用を。東港開発に関する国・県の支援策の動向は。

町長 ①昨年末に計画書の提出を受け、現状では用地買収もほぼ同意を得ている。葵会の事業展開において、現状では町での他事業の協議はない。今後、開院に向け病院側と協議し要請を図りたい。

② 関係機関との設計協議が終わり、地権者への了解も得た。一日も早い完成を国交省に働き掛ける。

問 新規補助事業の「聖籠町住まいる券」により、住宅環境の改善や町内建設関連業界の活性化が期待される。しかし消費税増税を控えた駆け込み着工などを背景に多くの応募が予想される。販売方法はどうか考えている。

町長 上限を決めて販売 住まいる券発行に期待

町長 発売総額は3千万円で15%の割引。一世帯の上限は70万円以下、5万円。期限は6カ月で申込者が多ければ抽選にする。建設関連業界に与えられると確信。



▲望まれる安全対策

東港開発の展望は

町長 エネルギー拠点の中心に

③ 県発表の日本海横断パイプライン構想を軸に、東港背後地のゴルフ場用地を有効活用し、エネルギー拠点として他県に遅れをとらぬよう要請する。

通学路の車事故を防げ

町長 集落区長等と協議し対応

問 全国で登下校中の児童の重大事故が続発している。町内通学路の危険箇所は何箇所か。子どもの安全を守るのが大人の課題だが、どう考える。

町長 町内の危険箇所は21カ所だったが、看板での対応と警察への要望の結果、未対策箇所は5カ所。歩道設置等の用地買収や予算がネックの箇所は4カ所ある。今後関係機関、地元集落と協議し、

地権者の理解が得られれば歩道を設置したい。

教育長 安全確保は大変重要と認識。今後も関係課、機関と協力して、危険箇所の改善に努力し安全を確保して行く。

進んでいるか行政改革

町長 現状を踏まえながら進める



渡辺 利道議員

問 第4次行政改革大綱が策定されて1年経過し、その進捗状況について伺う。

① 行政改革期間中は臨時・パート職員を含め職員総数を減らすとあるが、削減状況はどうか。

② 事務事業評価の結果の公開は、誰でも自由に落ち着いて閲覧できるようにできないか。

③ 事務事業評価の中で、国際交流事業は改善を要するC評価である。国際交流事業の抱える課題と解決方法は何か。

町長 ①平成25年度の職員総数は、正職員が180人、臨時・パート職員261人で平成24年度に比べ、正職員で4人減、臨時・パートで8人減となっている。現状を

踏まえながら改革を進めたい。

② 事務事業評価の結果公表は町のホームページにも掲載はしてあるが、見づらい場所であったため、わかりやすい場所に移動した。また、役場内に落ち着いて閲覧できる場所の確保を検討したい。

③ 国際交流事業は町民の国際理解の促進と交流支援を目的として行っている。ハルビン市との交流では、昨年訪問し、幅広い交流に向けて相互に検討することを話し合ってきた。

今後は、英語圏との交流も大切であるとの認識から、検討していきたい。

販売せよ生ごみ堆肥

町長 25年度より販売する

問 昨年から生ごみ収集が全町で行われており、豊栄郷のごみ焼却施設への搬入量が減少傾向にあるのは喜ばしい。その反面、生ごみ堆肥化施設の

運営経費がかかっており、大幅なコストアップになっている。コスト削減のために生ごみを販売する計画はどうか。

① 現在の堆肥在庫量および25年度の生産見込み量。

② 25年度の販売計画。

③ 販売に支障となっている事項。

町長 ①生ごみ堆肥の在庫量は8トンで、25年度中に60トン生産できる見込み。

②25年度より10キログラム1袋100円にて販売を計画している。

③季節により在庫が増える状況となるため、隣接する堆肥利用組合と連携し、牛ふん堆肥との混合を計画している。



▲いよいよ販売開始 生ごみ堆肥センター

その他の質問

問 新図書館建設に要する全体額と管理、省エネ対策は。

町長 建設に要する費用は11億9千万円を予定。省エネでは太陽光パネルの設置および雨水を利用



田中 智之議員

英語圏との国際交流推進を

町長 交流先を含め調査・検討

問 現在のグローバル社会においては、他国の動向が直接われわれ個人の生活に影響を与えるケースも少なくない。今後、異文化の理解や他国との交流による相互理解は、ますます重要性を増す。そのような現状と戦後わが国が歩んできた歴史。貿易を経済活動の中心とする産業構造や近年のIT産業の発展などから考えると、今後は英語圏との交流、そして特に英会話の習得は必要不可欠な能力・技術になる。

本町の国際交流はハルビン市との交流事業が中心であるが、今後は英語圏の都市との姉妹・友好都市締結も含めたさまざまな分野での交流も必要

になる。また民間レベルでの交流への行政支援などの施策が必要だと思ふ。今後の事業展開をどう考えている。

町長 国際情勢を鑑みて、今後は英語圏との交流も大切である。さまざまな異文化を理解し、異なる習慣や価値観を持つ人と共生できる町民を育てる必要がある。また子どもたちの英語力の強化は重要であり、町職員や町民を巻き込んだ国際交流事業の検討委員会などの組織を立ち上げ、事業のあり方を模索することも必要。

問 体罰が国民的大問題となっており、マスコミには連日パワハラ・体罰問題が取り上げられている。そんな中、2月に本町の学校でも県の教育委員会の依頼による体罰調査があった。しかしこの調査方法には疑問を感じる点もある。それらを踏まえ2点質問する。

① 今回のアンケート調査の結果、および教育委員会への学校・児童生徒、保護者からの報告を含め本町での体罰の事実は。

② 県の調査とは別に「記名式・調査期間・体罰の定義」の3点を検討し直して、町独自の調査をすべきではないか。また体罰に対する教育長の見解と、今後体罰があった場合の対処は。



▲日本一いきいきした学校を目指す

体罰調査の徹底を

教育長 体罰には厳正に対応

教育長 ①今年度において、本町の小・中学校における体罰はなかった。②町独自の調査の実施については、国や県の動きも考慮しながら今後教育委員会でも検討する。

体罰は児童・生徒の身体だけではなく、心にも深い傷を残し、保護者や地域との信頼関係を損なう。決して許される行為ではなく、厳正に対応する。

公共用地買収は公平に

町長 地権者の理解と協力必要

問 町の公共事業を執行するに当たっては、町内全体にわたる土地所有者の協力と理解が必要である。現在の買収単価は、市街化区域と市街化調整区域の二つに区分され、さらにそれぞれ小学校区ごとに区分し、役場周辺を特別に選定している。

宅地単価は亀塚一平方メートル当り9600円、次第浜8800円、網代浜7600円、宅地以外は亀代地区4800円と均一である。

亀代学区6360円、山倉学区5530円、役場周辺7400円である。宅地以外は役場周辺3700円、蓮野学区3480円、亀代学区3180円、山倉学区2760円である。

しかし、固定資産税の課税価格は一番高いのが山倉学区ひばりが丘19200円、蓮野学区旭ヶ丘17300円、山倉学区山大夫・山諏訪山13500円等々となっている。

固定資産評価額の一番高い場所が一番安い買収

単価となっている。税金を高額に納めている人が一番安価で買収されている。

今後公共事業を進めるに当たっては町民の協力と理解が不可欠である。

①買収単価の決定方法と基準・算定根拠は。

②線買収と面買収の同一単価は適正か。

③各小学校区の区別は不均衡でないか。

④山倉学区が安価の理由は。

町長 公共事業を行うには地権者の理解と協力が必要である。

今までは新潟東港開発・新々バイパス・民間宅地開発・日沿道等の買収単価に追随する形で買収単価の改正をしてきたが、社会経済情勢の変動により、固定資産税土地評価額を基準とする案と

した。

①宅地の固定資産評価額の平均単価に基づいて各小学校区に設定した。改正は固定資産評価額の評価替を行う。

②線買収と面買収の単価は評価方法に変わらないので適正である。

③各小学校区の単価設定は、各集落ごとの評価額の平均値を小学校区の買収単価としている。

④山倉小学校区の安価は集落平均が他より低いためである。



▲地域により格差のある土地買収単価



小川益一郎議員

督促状の誤発送なぜ

町長 深くお詫びする

問 24年度4期分の町民税督促状が一部の町民に誤発送された。税の誤りは町民の税行政に対する信頼、ひいては行政全般に対する信頼を損ねる。どのように考えているか。

町長 日ごろ税務行政のみならず、行政事務全般にわたり職員研修をしている。今後は再発防止に努めると同時に、チェック機能を怠らないようにするので、理解願いたい。

●一口メモ
線買収・面買収とは
線買収とは道路・河川のように線状に買収すること。
面買収は一定の面積を買収すること。(学校用地等大きな面積を1カ所買収する)
評価替とは
固定資産評価額を3年ごとに評価の見直しをすること。評価替の年を基準年度とし3年間同一評価額とする。(次の評価替は平成27年)



堀 常正議員



中村恵美子議員

激変緩和の施策は重要

町長 町単独では考えていない

問 生活保護は、全て国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有するとうたい、この権利を保障する義務を国に科した憲法25条に基づく制度である。

①今の地方財政制度のもとでは、削減された生活保護費を支出せよと要求することに無理がある。かつて新潟市では、年末一時金などの市単独事業を実施していた。

そのような激変緩和の施策は重要だと考えるがどうか。

②生活保護費の削減は、貧困と格差の拡大である。例えば、就学援助や高校授業料の減免、国民健康保険税の減免等国民生活全体に影響がでると思うがどうか。

町長 ①平成25年2月末現在の町の生活保護受給者は、36世帯、52人である。人数の多い世帯は2世帯のみである。見直しによる影響は少ないものと思うので、町単独での激変緩和措置は考えていない。

②各種給付金や負担軽減を受けられる所得基準の多くは生活保護の水準を参考に決められているので、実態を見て生活困窮者に対する救済が必要なら検討したい。

状況により市長会や町村会を通じて国への働きかけも検討したい。

緑地公園的な森づくりを

町長 協働型の公園づくり

問 町民が待ち望んだ図書館建設が、総工費1億円を超えた予算で始まる。図書館、役場を中心に周辺地域はたくさんの方の交流を生み出す環境になる。図書館は核となるが、付随する緑地帯、風の森づくりに、町民と地域が参加できる緑地公園的な森づくりができないか。

町長 単なる公園整備にとどまることなく、役場周辺の都市計画公園づくりを考えている。造園設計を大切にしながらも、憩いの空間として緑化環境が生かせるように考えている。

現図書館をどう活用する

教育長 利用者の意見を参考に

問 新図書館が完成した後の現図書館の跡地利用について、どのような考えをもっているのか。

同じ館内のトレーニング



▲現図書館をスポーツ拠点に

グループが盛況で、今後は待ち時間の設定、利用者制限も、やがてくるのではないかと心配している。トレーニングルームの増設や、スポーツの拠点になるような環境整備に有効利用できないか。

教育長 社会教育団体やさまざまな人たちが町民会館を利用して、そのような人たちの意見を参考にしながら、教育委員会としての案を考えていきたい。

環境美化の取り組み

町長 地域と共存で取り組む

問 町長は施政方針で、今年度からは本格的に環境美化推進に取り組むと述べている。

①地域単位のボランティア団体、組織の育成とはどのような組織で何をやるのか。

②環境美化のNPO法人の設立準備は今年度どのような計画で進めるのか。

③町の緑化運動や美化活動に親子を取り込み、実践の場として、図書館周辺、広場、アプローチモーターなどの森づくりに生かさないか。

町長 ①団体、組織は各集落単位として、町道敷地などに花を植えたり清掃を考えている。

②今年度は人材発掘を行い、設立、認証の申請手続きまでを目指して許可をとりたい。

教育長 ③今後学校で取り組んでいく環境教育の充実を図り、家庭、地域と連携を取りながら推進する。

中小企業振興条例の制定を

町長 制定は考えていない

問 ①1999年に中小企業基本法が制定され、自治体でも条例制定が広がった。

2002年には燕市が制定。また、三条市と燕市が地域の中小製造業集積に注目し、地場産業センター・リサーチコアを拠点とする事業展開を開始した。本町でも、中小企業振興基本条例を策定

し、活性化を図るべきでないか。

②町で製造事業所を対象にした全数調査を行うべきでないか。

町長 ①本町は東港事業区域内に、製造業等の企業がある。これらは地場産業とは全く違う。町の実態に即した振興策をしているので、制定は考えていない。

②条例制定の考えがないので、実態調査の実施予定はない。しかし、町の商工業者、東港工業団地の企業の方の考えは、聞いてみる立場はあると考えている。



▲中小企業の振興を

第15回 追跡レポート その後どうなった 請願・陳情のゆくえ

平成20年から23年の間に議会で審議・採択された請願・陳情は、請願が22件、陳情は28件ありました。その中でも、特に町民から提出され、私たちの生活に深くかかわる3件の陳情について、その後の状況を調査しましたので皆さんに報告します。

陳情 農道を舗装してください

陳情名 農道整備(舗装)の陳情書
提出者 道賀新田区長 加藤富広
議会採択年月日 平成22年9月30日



△工事着手前のようす(平成24年3月上旬)

処理状況

工事完了

平成24年度に工事着手・完了しました。



△現在のようす(平成25年3月上旬)

陳情 地区防災道路を整備してください

陳情名 藤寄集落下通り地区防災道路整備に関する陳情書
提出者 藤寄副区長 遠藤博
議会採択年月日 平成20年9月22日

処理状況

用地買収業務など終了

平成22年度から24年度に町道藤寄1号線は、用地買収・補償を完了。町道藤寄2号線は、用地測量・物件調査を終了しました。

今後の計画

平成25年度に町道藤寄1号線の道路改良工事一部着手予定です。



△現在のようす(平成25年3月上旬)

陳情 町道を整備してください

陳情名 道路整備の陳情書
提出者 山大夫区長 中村義人
議会採択年月日 平成20年9月22日



△工事着手前のようす(平成24年3月上旬)

処理状況

道路改良・舗装工事終了

平成23年度までに用地買収・補償を完了し、24年度に工事着手・完了しました。



△現在のようす(平成25年3月上旬)

通学路の安全確保万全か

町長 できるものから実施する



青木 順議員

問 登下校中の児童が事故に巻き込まれるなどの悲劇が起きたのは、マスコミの報道などで記憶に新しい。車の性能が良くなるにつれ、歩行者から車の存在を発見しづらくなっているのも事実である。運転者の意識やマナーも大切だが、事故予防も大切である。現在ボランティア、地域や親、先生方など多くの人が交通指導にあたり、安全確保に取り組んでいる。町行政としても取り組むべき課題がある。現在、通学路で危険箇所はどれくらいあるか、またそれらをこれからのように改善していくのか。また、歩道やガードレールを整備するのは、

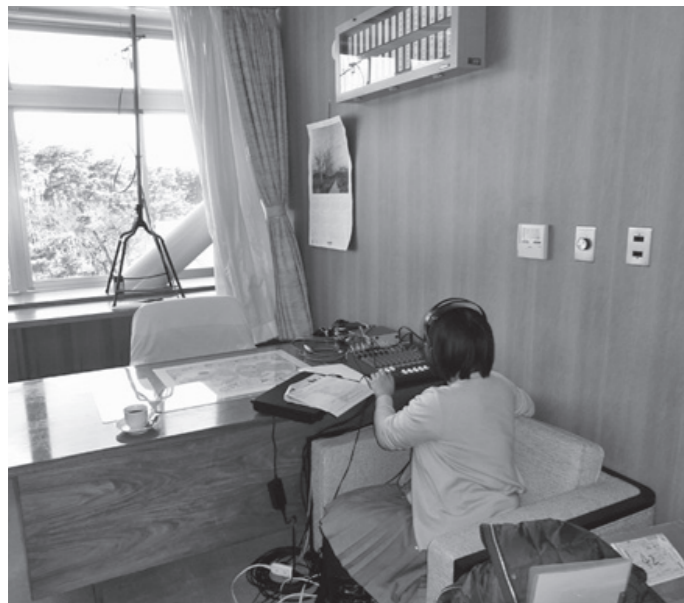
時間や労力が非常にかかる。すぐできるような、歩道のカラー塗装や熱から守る遮熱塗装などで安全確保に努められないか。
町長 危険箇所は3小学校区で計21カ所、内未対策箇所は、5カ所ある。歩道の遮熱塗装や、カラー塗装などの提案だが、降雪期の除雪によって、塗装が剥がれることなどが懸念される。同じ気象条件の周辺自治体の実施状況と維持管理状況を精査し、何よりも地域の方、学校、教育委員会との整合を図り、対応する必要がある。できるものから実施していきたい。



▲みんなで守ろう子どもの安全

問 PM2.5は、熊本では基準値を大きく上回り注意勧告まで出る事態となった。中国は石炭を燃料に暖をとることで、排ガス基準が緩く車が一気に増えたことなどで、依然予断を許さない状況だ。PM2.5は風や黄砂にのって日本にもやってきている。町でも黄砂により車が黄色く、ほこりまみれになる現象は毎年発生している。決して遠い国の出来事ではない。お年寄り・子ども・体の弱い方など、健康被害が重症化しないように、情報、知識や注意を早急に町民に周知できないか。
町長 近隣諸国の大気汚染などによりPM2.5に限らず基準値を超える状況にあるときは防災無線で迅速に周知を図り、注意喚起を図って行く。

深刻な大気汚染対策は 町長 情報提供に努める



一問一答方式導入を検討

議会運営

町議会は、日曜議会の開催やエフエムしばたで本会議の様子を生中継するなど、町民に議会の討議内容を周知してきた。しかし、「議論の流れが分かりにくい」などの声が聞こえる。現在は議員が全項目を質問した後、町側がまとめて答える一括質問一括答弁方式を採用している。一問一答方式では質問項目ごとに答弁を求める。

一問一答方式は、分かりやすさと議論の活発化が期待される。しかし、従来方式より時間が掛かることが想定され、質問回数や論点を明確にするため、町側が逆質問できる「反問権」の導入など課題はあるが、身近なわかりやすい議会を目指す上で一問一答方式を採用する議会が増えていく。今後、諸課題を解決し、導入する方向で検討している。

政務調査費から政務活動費に改正

▶平成24年度分は6月から閲覧可能。



▲議会運営委員会で検討中

議会運営
議会政務調査費の取り扱いが地方自治法の改正により「議会政務活動費」に変わった。これについて本議会で、数回の検討を踏まえて、2月18日の臨時議会で議会運営委員会の構成で議員提案し、全会一致で可決された。主な改正点は次の通りである。
①名称変更 「政務調査費」が「政務活動費」となった。
②陳情や住民相談などにかかわる経費も認められることとなり、経費の対象が拡大された。
③活動費の対象範囲を条例化し、より透明性を高めた。
④政務活動費の最大月額1万円、年額12万円はこれまでと変更はない。
⑤議員から提出された収支報告書は、議長に申し出れば議会事務局で閲覧できる。

あんなことや こんなことを 調査 委員会

あんなことや こんなことを 研修 報告

本委員会は、3月7日に24年度の転作実施状況並びに25年度の転作概要について、担当課の資料に基づき調査を実施した。平成24年度の水稻作付目標面積は729ヘクタールとなり、結果として加工米を除く作付面積が770ヘクタールとなり、41ヘクタールの作付超過となった。平成25年度生産目標数量は3917トンと平成24年度対比93トンの減となり、昨年と同様に削減された。要因として、米の品質問題や特定品種への偏りなどが指摘されている。関係団体と連携し、目標数値減少に歯止めをかけるための施策構築をはじめ、町農業の振興に尽力することを期待したい。

支障ない運営を確認

委託後の学校給食を調査

総務文教

本委員会は2月21日、①民間業務委託後の学校給食調理場、亀代こども園の運営状況 ②し尿処理施設等について現地調査を行った。①委託後の学校給食は、特に支障なく運営されていた。食物アレルギーについては、栄養教諭・教育委員会など連携し、細心の注意を払い提供することの説明であった。②し尿処理新施設の計画は、平成23年4月着工、平成26年4月上旬に完成予定。建設地は新発田市、中曽根字中坪。面積は、1万1772平方メートルであるとのこと。中部衛生センターは25年3月末で閉鎖予定であるが、新施設が完成し通常処理ができるまで稼働予定とのことであった。新施設の早期完成を期待する。

農業振興への尽力に期待

転作実施状況・概要を調査

厚生産業



FM 議会放送を聴いて



いせき みつえ
伊関 光江
(桃山)

3月5日、ラジオ放送エフエムしばたで聖籠町議会中継を初めて聴きました。
ラジオのスイッチを入れエフエムしばたの76.9メガヘルツに合わせましたが、雑音が入り良く聞きとれません。そこで今度は(感度の良い)別のラジオで聴きました。すると音声がきれいに耳に飛び込んできたのでホットしました。
PM2.5大気汚染問題など、熱の入った質疑応答で、町民の生活を守る意気込みを感じました。居ながらにして、ラジオで聴ける、これからもエフエムしばたの放送を続けてほしいと思います。今後とも、町民のため、議員の皆さま、執行部と大いに議論を闘わせて下さい。

ラジオ放送を聴き感動



たかはし まさと
高橋 正人
(次第浜)

2日目の質問を聞いた時、聖中の生徒たちが全国標準学力検査で、5教科の平均偏差値が53.5で、全国に肩を並べる成績になったとの放送を聞いて、歴史を変えた生徒達に感動しました。

嬉しさのあまり聖中に、お祝いの電話をした次第です。努力すれば結果は必ず出ます。指導していただいた先生方に感謝し、この先も、継続出来るよう努力してください。私と妻は目が不自由で、光が見える程度です。毎日の楽しみはラジオを聴くことですが、周波数を合わせるにも大変です。今後も二人で、ラジオを傍聴するのを楽しみにしています。

エフエムしばたを聴いて



てしま みちこ
手島 道子
(山大夫)

統合中学校建設に関心を寄せて議会を傍聴し始めてはや15年、近頃は年齢とともに福祉全般に興味を持つようになりました。女性の傍聴者が少なく気後れしながらも、事前に質問書に目を通して聴きたい内容を選び、その議員さんの質問開始時間を予想しながら議場に

行っていました。しかし、昨年12月からFM放送されるようになり、関心のある事柄を気軽に家で聴けるようになり、一層議会を身近に感じられるようになりました。6月議会から皆さまも是非、聴いてみてはいかがでしょうか。

FM 放送は議員を知る機会



いしい えつみ
石井 悦美
(網代浜)

聖籠町の議会がエフエムしばたで放送される。当日なかなか電波が悪く店の一角でやっと聴くことができました。議会だよりでは知ることのできない議員さんの緊張感も伝わって来ました。一般質問で3〜4問と質問してその後答弁。答弁漏れや最初の質問が薄れるよ

うで一問一答がわかりやすいと思います。店に来るお客さんや知人に議会が放送されていることを話しても、知らない人や電波が入らない、時間がなくとか、私も全部は聴くことができませんでした。地元の議員さんの活躍や自分の支持している議員さんを知る機会だと

思います。翌日放送の、新発田議会と比べるのは良くないのですが委員会報告や市長さんの答弁が丁寧ですね。わが町の議会も聞かれています。町長さんも初心を忘れないでと切に願います。

FM 中継はじまる

～放送を聴いた人の一言～

本議会は開かれた議会を目指す一環として、平成24年12月議会からエフエムしばたによるラジオ放送を開始しました。年4回の議会ごとの一般質問を町民の皆さんにリアルタイムで聴いていただくことで、今まで以上に町民の皆さんと議会の距離を近づけられればと思います。

まだ2回目の放送ですが、聴いていただいた皆さんの率直な感想を述べていただきました。まだ聴いたことがない皆さんも、今度は6月議会になりますが、農作業中でも、車の中でもぜひ、聴いていただければ幸いです。

車で議会が聴ける



さいとう みつよし
斎藤 充佳
(蓮湯)

前から、議会をFMで放送するのは人から聞いたり、議会だよりなどを通して知っていました。仕事をしているため、議場に行つて傍聴するのは難しく、なかなか行くことはできませんでした。ラジオで聴けるということもあって、正直今まであまり議会に関心がありませんでした。子どもも大きくなり、親としての責任感も大きくなる中、このFM放送を通じて聖籠町は今どうなっているかなど身近に感じ、自分も議論に参加しているような気分を感じています。

スイッチひとつで



たなか たきこ
田中 多貴子
(二本松)

「あれっ？」車の中でラジオをよく聴く私の耳に入ってきたのは、アナウンサーとはちょっと違うアクセント。少しボリュームを上げて聴いてみる。そうか、議会のラジオ放送ってこれのことか。あいにく長く聴くことはできませんでしたが、議会の雰囲気を感じ、議員の迫力ある質疑や普段耳にすることのない声や話し方を聴くことができました。スイッチ一つで気軽に簡単に議会をその場で味わえるなんて、これ、ちょっとお得かも！

☆ FM放送開始

昨年12月議会定例会から、本会議での一般質問のようすを「エフエムしばた」で生放送しています。

これは町民の皆さまに、常日頃あまりなじみのない本会議での議論や議員の活動をもっと知っていただくことで、私たち議員が目指す「より開かれた議会」に近づけたいと考え開始したものです。

議会に興味はあるが、都合で議場には行けない方もいます。

ぜひこれを機会にFM放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っております。

なお、一般質問の内容を記載した通告一覧は役場総合案内、町民会館、図書館、保健福祉センターおよび診療所に事前に設置しますのでご覧ください。



次回の定例会は、

6月18日(火)開催の予定です。

議会広報対策特別委員会

議長	須貝 龍夫
委員長	五十嵐 利栄
副委員長	渡辺 利道
委員	堀 常正
	田村 富美男
	田中 智之
	青木 順

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん

まわりのかたがたに助けてもらって元気に生活しています



かわしま いくこ
川島 郁子 さん
(亀塚)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

友人の紹介で知り合いました。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

おいしい食べ物に恵まれていて、のどかで住みやすい所だと思いました。

Q 町での生活はどうか(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせ下さい)

家族やまわりのかたがたに助けてもらいながら、元気に生活しています。

町に望むことはありますか

Q これからも住みやすい聖籠町であってほしいと思います。

今回は妙高市出身で平成24年11月に嫁いできた川島郁子(旧姓遠藤)さんです。

皆さんよろしくお願います。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。

対象者は町外から嫁いできたお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局(TEL 0254-27-1967)までご連絡下さい。

編集後記

一年前の本議会で全会一致で提出した、T P P 交渉参加の反対意見書を12月衆議院選挙で県内自民党議員のほとんどが、T P P 交渉参加大反対で当選した声もあつさりとして否定され、安倍政権はT P P 交渉参加を表明しました。農業県新潟や聖籠町にとって、試練のスタートが始まります。

まさに行先不明の船に乗る決断を、厳しく監視していくことが大切だと考えます。

春は旅立ちの季節です。今年も聖籠中学校生徒157人が巣立っていきました。未来の日本や、聖籠町を背負ってくれる、若人の今後の活動にエールを送り、各分野に渡つての活躍を期待し、見守りたいと考えております。

議会広報対策特別委員会
委員長 五十嵐利栄